

第 1 1 2 2 回教育委員会会議録

1 日 時 令和 3 年 1 月 2 7 日（水） 午前 1 0 時 0 0 分～午後 1 2 時 0 0 分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 豊北教育長 南部委員 原委員 山本委員 森下委員 横井委員
清川学校教育監 南谷副部長 油谷副部長（高校教育）
星教育政策課長 小林教職員課長 川崎義務教育課長
高橋生涯学習・文化財課長 河瀬保健体育課長
浅井教育総合研究所教科研究センター長
有賀健康福祉部副部長（子ども家庭）

4 議 題

日程第 1 第 4 2 号議案 授業名人の任命について

日程第 2 第 4 3 号議案 再任用教職員の採用内定者の決定について

日程第 3 第 4 4 号議案 令和 2 年度福井県立学校寄宿舎指導員・実習助手採用試験の
採用内定者の決定について

日程第 4 第 4 5 号議案 南部陽一郎記念ふくいサイエンス賞受賞者の決定について

日程第 5 第 4 6 号議案 福井県選手強化対策委員会委員の委嘱について

5 審議事項

（1）開会宣告 午前 1 0 時 0 0 分

（2）会議録署名人の指名 原委員 山本委員

（3）議事要録

教育長 本日の日程第 1 第 4 2 号議案から日程第 5 第 4 6 号議案、協議報告事項の
6 から 9 については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨
発議

—————当該議案を非公開と決する—————

◎協議・報告事項

（1）教育長職務代理者の選任について

（2）福井県学力調査（SASA2020）の結果について

山本委員 もう少し試験時間があってしっかり読めれば分かったのに、問題量が多過ぎてきちんと判断できなかったということはないか。

教科研究センター長 例年より、小中学校とも試験時間を5分短くしたが、設問数も減らした。記述式の問題も減らしたので、試験時間が少ないということは考えにくい。

森下委員 実際に解いてみて、これまでより問題量も減っており解きやすかった。これまでは、長文問題や記述問題が多かったので、力がありながらも時間内に発揮できなかった子供もいたと思うが、今回は改善できていると感じた。

主語述語の関係について、授業では「～が」とか「～は」などの形的なことを押さえることは多いと思うが、調査問題にある「見ていたのは誰か」とか「必死だったのは誰か」といった内容の読み取りなどをもっと重視していくと改善されていくだろう。これまでの指導では、主語は「～は」や「～が」が付いている所を探すことを重視していたと思うが、もう少し内容を重視していった方が良い。

また、読書に関する教科等横断の問題について、冊数が少ない、読書をしない人が多いなどのデータが出ていて、どの問題を解いても読書について考えさせる内容になっておりとても良かった。

原委員 採点しやすくするために選択問題が増えていると思うが、子供が何かを表現しまとめて論じていく力について、どんな方法を用いて把握しているのか。

教科研究センター長 選択問題の割合を増やし記述問題は3題程度に減らしたが、記述式問題の中で表現力や記述力を評価できるような問いを工夫して出している。

南部委員 学習状況の把握と分析によって、改善された部分と課題となっている部分が見えてきたことはとても良い。この課題について、今後どのように改善させていくのか、それを活用して教育現場をどのように変えていくのか、具体的にどういう活用方法を考えているのか。

教科研究センター長 調査結果と分析速報については、1月中旬に市町教育委員会や各学校に提供している。今後2月中に、より具体的な授業改善を記載した報告書を研究所のホームページに掲載するので、そこで活用してほしいと考えている。

さらに、学校や各市町教育委員会の要請に応じて、授業改善のための訪問研修を計画している。

南部委員 現場の先生は、これだけのデータをまとめた文章だけでは感覚的には分かるけれども、それを生徒の教育にどう結びつけていくかが重要になる。訪問研修など様々な機会を活用して、いかに浸透させていくか、具体的な方法をより検討してほしい。

教科研究センター長 市町の教育委員会とも連携して、市町教育委員会の指導主事などにも直接伝える機会があるので、市町を通じて各学校に指導改善などを図っていくようお願いしていく。

横井委員 学校生活は楽しいですかという質問に対して、小学校94・3%、中学校の

92. 3%が楽しいと答えていることなど、初めてこの調査結果を見て率直にどの質問の答えもとてもすごいと感じているが、この数字と福井県の教育の実態は合っているのか。これが肌感と合っているのならこの数字を信じようと思うが、調査している学校に偏りがあったりして実際と違うとなると、この数字を信じて進めていくのは危険な感じがするので、実際はどうかを知りたい。

教科研究センター長 全ての小学校5年生と中学校2年生が調査対象となっており、この結果が福井県の実態であると考えている。

横井委員 本当に素晴らしい結果だと思うので、逆に慎重に見ようとしているのだが、子供たちが調査に答える時に、良く見せたいというようなバイアスがかかるということはないのか。

教科研究センター長 そういうことはないと思う。

学校教育監 高校になると数字が低くなるので、そこは課題である。

森下委員 小学校の理科について、中池見湿地の問題でモートンイトトンボやクロゲンゴロウの変態について取り上げているが、通常、小学校ではモンシロチョウを飼育して変態の学習をしており、トンボやゲンゴロウを実際に飼育して観察するのは難しい。分析結果では、複数の種類の昆虫の成長と比較しながら、成長による体の変化を調べる活動が十分に行われていないことを原因として挙げているが、モンシロチョウでも卵から観察するのは実際には難しいと思う。

現場でいろいろな種類の変態を学ばせるためには、様々な情報やその活用方法など負担を減らすような助言や支援が必要であり、分析結果に示されていることを現場に求めても、先生方はできないと思ってしまうがちである。短い時間で変化の様子を学ばせるための指導方法を提案していくことも大切である。

この前のOECDの調査結果で、宿題をするときにICTを活用しているという項目の数字が日本はとても低く、諸外国との差が出ていた。ICTを活用して宿題に取り組む習慣を身につけさせるためにも、中学校の質問紙に、「ICTやインターネットを活用して宿題をしているか」という質問を加えてはどうか。今後、質問の中で問うことによって、現場の先生方も取り入れて活用していくという方向に流れを変えるための提案にもなる。

学校教育監 質問紙の内容については、現在見直している最中である。理科の観察については、実際に飼育できるものはそれで良いと思うが、飼育できない場合はICTを活用して動画などの映像で対応できるやり方を示していきたい。

教科研究センター長 研究所のホームページで理科の実験動画を配信している。その中には、幼虫から蛹を経て成虫になっていく変化の様子を見られる動画もある。現時点で33本の実験動画を作っており、それらを各学校で活用してもらえよう市町教育委員会に連絡している。

山本委員 質問紙の内容で気になる点はいくつかあった。例えば、「めあてを持って学習に取り組むようにしていますか」という質問があるが、「めあて」という言葉に多少戸惑いを感じた。

また、「自分ががんばったことを認めて、ほめてくれていると思いますか」という質問の「認めて、ほめて」というように、2つの内容が入っている質問が幾つかあり、子供たちはなかなか考えにくかったと思う。特に、小学生に判断させるのは難しい気がするので見直しが必要である。

(3) 高校生の就職状況について

南部委員 大企業が採用を控えている中でとても高い内定率だと思うが、新型コロナウイルスによる影響はどのような感じか。

副部長(高校教育) 昨年より求人倍率は下がっているが、まだ3倍弱の数字はある。今回、就職選考開始がひと月遅れて10月からスタートしているが、一方で希望する職場を見学する応募前職場見学の期間がひと月伸びたので、いろいろな所を見てしっかり考えて就職できたということで、このような結果になったと考えている。

横井委員 文部科学省と県内の調査で、なぜこれだけの差が出るのか。

副部長(高校教育) 文科省や労働局の調査には私立高校の数字も入っているが、高校教育課調査の結果は県立高校のみの結果なので、こういった差が出てきてしまう。私立高校も、12月末現在で9割の内定率は超えていると聞いている。

森下委員 今までにどこにも就職が決まらなかったという例はあるのか。

副部長(高校教育) 昨年はなかったが、卒業時点で決まらずに3月いっぱい頑張っても決まらなかったという例はある。学校としては、卒業後でも就職が決まったら教えてほしいと伝えているし、相談があれば支援もしている。

(3) 令和3年度福井県高等学校推薦入学者選抜、特色選抜および連携型中高一貫教育校入学者選抜の結果について

南部委員 外国人生徒等特別選抜について、受験者の国籍に偏りはあるのか。

副部長(高校教育) 10名の合格者のうち、9名がブラジル、1名がタイである。

南部委員 越前市の小学校出身の生徒が中心なのか。

副部長(高校教育) 今回の出願者は越前市が中心である。

原委員 特色選抜の出願者、合格者が増えているが、どの種目で増えているのか。

副部長（高校教育） 特色選抜は90種目21校で実施しており、吹奏楽や文科系も一部あるが、ほとんどが運動系の種目である。そのほかに、生徒会活動やボランティア、工業高校にはプログラミングやロボットコンテスト等もあるが、全体的にはスポーツ系の種目で増えている。

原委員 どこかに偏って増えたのではなく、全体的に増えたのか。

副部長（高校教育） そうである。

山本委員 学校から推薦されるほどの素晴らしい生徒なのに、不合格になるのはどんな理由からか。

副部長（高校教育） 例年福井商業の人气が高く、今年も募集人員をかなりオーバーしていた。入試なので募集人員のところでボーダーということになり、推薦してもらったが残念な結果になる生徒も出てきてしまった。

山本委員 それだけの条件をクリアしているのだから、みんな合格でも良いのに、と思う部分もある。

副部長（高校教育） 推薦入学者選抜は、中学校の校長先生の推薦による出願なのだが、結果的に募集人員をかなり超えてしまった。高校としても合格させたい気持ちはあるが、合格させてしまうと一般入試で入ってくる分が狭くなってしまうので、募集人員をしっかり目途として考えていきたい。

教育長 一般入試での挑戦はできるので、そこで頑張ってもらいたい。

（5）食育教材（ふくいこども食育チャレンジ）第一次改訂版の作成について

森下委員 食育で系統的に問題を解きながら知識も増やしていける良い資料なので、完成が楽しみである。低学年には、薄い冊子を配ることになるのか。

保健体育課長 実際には教材として活用するための資料になるので、全てのデータを加工できるようにDVDに収録して、学校で活用してもらおうと考えている。資料全部を配布するのではなく、例えば、ある問題を宿題として出すなど、各学校で企画して使用できるような形での学校への配付を予定している。

森下委員 せっかくこういう系統的にすべてを網羅した問題を作成されたので、できるだけ利用できるような形にしてほしい。どうしても現場は忙しいので、配布するだけでは活用までいかない。しっかりPRをして活用させてほしい。

山本委員 資料には、食事によるアレルギーについても含まれているのか。

保健体育課長 食物アレルギーについては、共通問題の183ページに掲載している。例えば、食べ物の中にはアレルギーの原因となるものも含まれていることを、小学校から各自で勉強できるような問題も出題している。

横井委員 これは福井県独自の取り組みなのか。

保健体育課長 平成28年度に教材として作ったもので、こういった取り組みは福井県独自の
ものである。

横井委員 この内容は、学校の授業で教えているのか。

保健体育課長 例えば、生活科や家庭科の授業で取り扱ったり、理科の授業の中で食育に関
連するものを取り入れたりしている。また、夏休みの宿題で出されることも
あり、その活用方法は、必ずしも授業だけで活用するのではなく、各学校で
工夫しながら様々な場面で取り入れてもらっている。

横井委員 級毎に分かれているのは、何か理由はあるのか。

保健体育課長 難しさを表しているものであるが、2年間でそれぞれの問題を選んで子供た
ちにチャレンジしてもらおうと考えている。

横井委員 この教材を先生に渡して、各先生で活用してほしいというねらいなのか。

保健体育課長 そうである。

横井委員 先生によっては、全く使わない先生もいるのか。

保健体育課長 各学校で給食や食育を担当している栄養教諭などが、学校全体で取り組める
ように指導計画を立てて活用している。教員の個人差も多少はあると思うが、
できるだけいろいろな教科で取り組めるように、新学習指導要領の主旨に沿
って広く活用していきたい。

横井委員 平成28年度から始めて、どんな成果や効果があったか。

保健体育課長 定量的な調査をしたわけではないが、子供たちが自身で考えた給食をコンテ
ストで発表したりするなど、そういう意欲を持った子供や取り組みを行って
いる学校も出てきており、そういった点で成果は出ていると思う。

教育長 日程第1、第42号議案を議題

教職員課長 資料に基づき説明

教育長 第42議案について、原案に対する異議の有無を確認

————原案どおり可決————

教育長 日程第 2、第 4 3 号議案を議題

教職員課長 資料に基づき説明

教育長 第 4 3 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 3、第 4 4 号議案を議題

教職員課長 資料に基づき説明

教育長 第 4 4 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 4、第 4 5 号議案を議題

副部長（高校教育） 資料に基づき説明

教育長 第 4 5 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 5、第 4 6 号議案を議題

保健体育課長 資料に基づき説明

教育長 第 4 6 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

◎協議・報告事項

（ 6 ） 高志中学校の入試結果について

（ 7 ） 福井県きぼう応援奨学金の奨学生内定について

（ 8 ） 令和 3 年度使用準教科書について

(9) 和敬学園に設置される小学校および中学校について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午後12時00分